

かいよう

# 消化性潰瘍とは？

(胃潰瘍と十二指腸潰瘍)



ヘリコバクター・ピロリ

## <1> 「消化性潰瘍」の意味

胃や十二指腸に穴が開いていく様子が  
あたかも粘膜が消化されていくイメージ  
を想わせるので、こういう病名がつけられた。

「かいよう」とは傷がグチグチと、くずれる状態を意味します。

## <2> 原因は？

25年位前までは、潰瘍の原因として「バランス理論」が考えられていた。これは胃の粘膜に対する攻撃因子(酸・アルカリ・薬剤・アルコール・ストレス)が、防御因子(胃粘膜ムチン)より強くなる事で、バランスがくずれて胃の粘膜に穴が開き、だんだん深く掘れてゆくという考え方である。その後、「ピロリ菌」が胃の中から発見され、この細菌が、かいよう発生に重要な役割を果たしている事がわかった。

胃の中はpH2という強い酸性なので、殆どの細菌は生存できないが、ピロリ菌だけは自分の体をアンモニアで包んで、バリアーにしているので生存でき、長い間に胃の粘膜の小さな穴をあけて弱めていく。

## <3> 症状は？

- ①かいようがまだ小さく浅い時は、主に空腹時のしみるような痛みで食事をした後に、痛みが少しおさまります。
- ②かいようがだんだん大きく深くなると、空腹時にも食事後にも痛みはつづきます。
- ③この頃になると、便の色がチョコレート色や黒っぽくなる事に気がつきます。(タール便)

## < 4 > 治療は

**20年位前までは胃切除がしばしば行なわれていましたが、今は薬をきちんと飲めば、4週間から6週間で治ります。かいようのへりの部分に癌組織が隠れている事があるので病理組織検査を受けることが大事です。**

**(特に何度もかいようを再発したことがある人)**

**またピロリ菌の存在が、かいようをくり返したり、胃がんの原因として重要な役割をしている事が明らかになったので、ピロリ菌を除去する事が必要です。**

## < 5 > 除菌治療とは

**ピロリ菌を殺す2種類の抗生物質と、強力な胃酸分泌抑制剤を1週間のおだけで、90%以上の成績でピロリ菌を除去できます。**